

令和5年3月2日

栗山町議会議長 鶴川和彦様

総務教育常任委員会委員長 鈴木千逸

### 所管事務調査報告書

令和4年5月24日開催の総務教育常任委員会において決定した所管事務調査を実施したので、その結果の概要を次のとおり報告します。

#### 記

1. 調査事項 教育施設に関わる今後の方向性について

2. 調査日程

回	調査年月日	ところ	出欠状況	説明員	結果	摘要
1	4.12.15	委員会室	5	教育総括兼学校教育課長、 社会教育課長	継続	説明質疑
2	5.3.2	〃	5	—	まとめ	—

3. 調査内容

令和3年9月に改訂された公共施設等総合管理計画において学校教育施設、社会教育施設含めて20%削減を目指しつつ可能な限り長寿命化を図るものとして方針が示されたことから、当該計画に基づき主要な学校教育施設、社会教育・体育施設個別の今後のあり方、維持・更新の考え方について調査を行った。

教職員住宅については、一部は今後普通財産に移行させて、移行後は一般町民への利用も考えている。しかし、施設の老朽化もあり、今後の利用状況を考慮して違う事業に転換していくのか、関係課と協議していくこととしている。

給食センターについては、長寿命化をしながら運営することとしているが、管理は非常に厳しい状況にある。他の教育施設の統合の課題とあわせて整理をしていくこととしている。

スクールバスの停留所については、老朽化し危険なものは撤去・廃止している。ただし、バス停は町営バスのバス停と重複しているバス停もあり、なかなか整理が進んでいないことから整合性をとっていくよう建設課と協議をしていくこととしている。

学生寮については、令和4年度の利用は、介護学生15名、栗高2名、計17名となっており、令和5年度は32名入寮予定となっている。

ふじスポーツ交流センターについては、ふじスポーツ広場の付帯施設として建設され、周辺地域の町民の利用の他、合宿での利用の経過もあり、幅広く活用されている。現在は、他町の利用はなく、大会の組織委員、父兄が使う形で利用しているが、冬季は利用できない状態となっており、利用の場合は今後指定管理と協議が必要である。

旧継立中学校については、現在は普通財産として経営企画課が所管しており、跡地活用について令和4年度オープン予定だったが、来年4月に向けて準備をしている。また、継立小学校が町道をはさんで向かいにあるため、教育委員会として、交通安全対策も必要と考えている。

雨煙別小学校については現在、雨煙別学校コカ・コーラ環境ハウスとして社会教育の事業を行っているので、社会教育課が窓口となって関わっている。

#### 4. 意 見

基本的には長寿命化を図りながら、今後の人口減少に伴う利用者数の減や、児童生徒数の減少を見据え、それぞれの施設において新たな活用法や利用者の間口を広げるなど、各施設の利用価値を高める検討や取り組みを進めてもらいたい。

また、老朽化している教職員住宅について、早急に関係課と協議し今後の方向性を検討願う。